

令和 5 年度		2 学年		商業 科	
教科名	理科	科目名	科学と人間生活		2 単位
1. 学習目標					
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に対する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに科学に対する興味・関心を高める。					
2. 使用教材等					
・教科書名 数研出版 新科学と人間生活					
・副教材名 数研出版 科学と人間生活 準拠サポートノート					
3. 学習項目 c					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	科学技術の発展 物質の科学 金属、プラスチックとその再利用 医療と食品	身近な材料であるプラスチックや金属の種類、性質および用途と資源の再利用について理解すること。 身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について理解すること	20	期末考査
	5				
	6				
	7				
2	8	生命の科学	植物の生育、動物の行動及びヒトの視覚と光とのかかわりについて理解すること。様々な微生物の存在と生態系での働き、微生物と人間生活のかかわりについて理解すること。	20	期末考査
	9				
	10	熱や光の科学	光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解すること。 熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について理解すること。		
	11				
12					
3	1	地球や宇宙の科学 太陽系における地球 身近な自然景観と自然災害	太陽や月などの身近にみられる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解すること。 身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、太陽の放射エネルギーによる作用や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解すること。	30	期末考査
	2				
	3				
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを 探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。			
②思考・判断・表現		自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現 している。			
③観察・実験の技能		観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの 科 過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学 的に探究する技能を身に付けている。			
④知識・理解		自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理 解し、知識を身に付けている。			
5. 評価の方法					
・定期考査： 中間考査、期末考査を行う。評価基準点に達しない場合は単位認定を行わない。					
・課 題： 通常授業内のプリントの提出状況を成績に反映させる。					
・授業態度： 出欠席や遅刻早退の状況を中心に考慮する。					
・実験レポ-ト： レポ-トの結果や考察・感想の的確さを点数化して評価します。					
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
演習ノートを用いて、知識の定着を図って下さい。					